

訪問看護DX化

3コースの研修

株式会社Avanti

AI事業部



【看護DXとは】

看護・医療分野のDX推進とは
どうやるのか？



DXとは？

(デジタルトランスフォーメーション)

企業がデジタル技術を活用して
ビジネスモデルや組織を変革し、
競争力を高めていくこと。

AI・IoT・ICTなどの技術を活用すること。



看護分野のDX推進のポイント



- ① 難しく考えない
- ② 課題を見つけることから始める
- ③ 小さく始めてみる



① 難しく考えない



AIを活用して・・・と考えるとしんどい。

『**現状の課題を
解決する方法はないか？**』

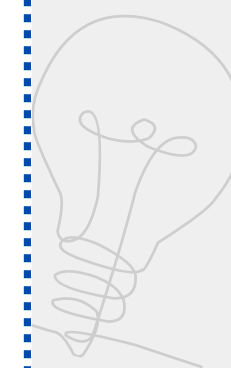
と考えてみる。



② 課題の発見から始める



- ☒ ペーパーレス化の実現を試みる
- ☒ 材料の発注管理をデジタル化できないか
(おむつや消毒剤)
- ☒ 勤怠管理をデータ管理できないか
- ☒ 利用者さんや家族とのやり取りは何でやる？



③ 小さく始めてみる



いきなり大きく始めると混乱につながる
小さく始めることがポイント

現場の混乱 → **利用者さんの混乱**



なぜ、いま訪問看護に
DXが必要なのか？

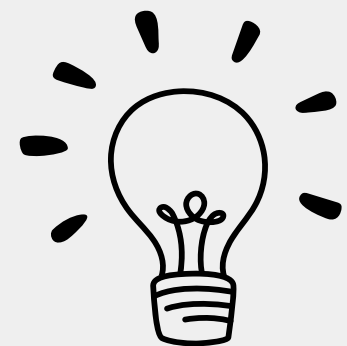


人材不足は、待ったなし

「採用しても定着しない」

「ベテランに業務が集中してしまう」

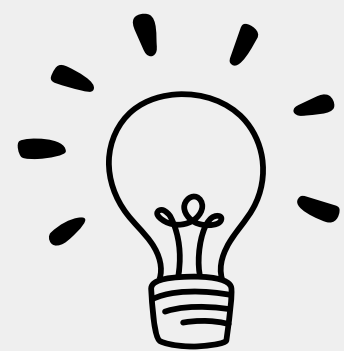
「日本人口減少＝労働人口の減少」



スタッフ一人ひとりの負担を軽減し、
業務効率化を実現できます。

記録・報告業務が『現場の足かせ』

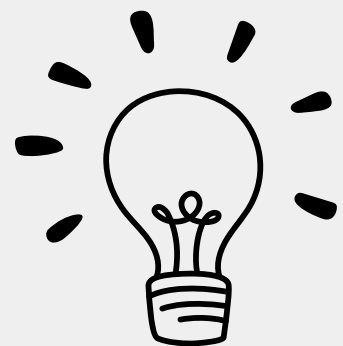
「訪問後に毎回紙で記録」
「帰社してからパソコンに入力」など、
非効率な業務が、**看護の本質的な時間を圧迫**



DX化で事務負担を大幅に軽減できます。

利用者のニーズは多様化・高度化

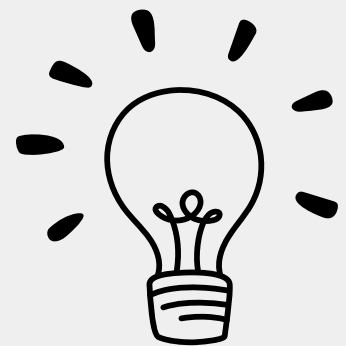
医療依存度が高い利用者の増加に伴い、
チーム連携とスピード感が求められる時代



情報共有がスムーズになり、
質の高い看護を継続的に提供を実現

報酬改定・加算要件の対応も複雑に

訪問看護の報酬加算は年々厳格化。
「必要な書類が不備で請求できない」
などのリスクも。



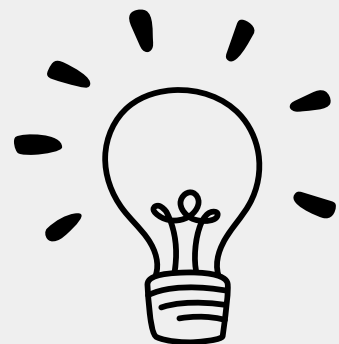
DXツールを活用で記録ミス・漏れの自動チェックや、
加算対象の可視化が可能。

差別化できる“選ばれる事業所”へ

「IT化していて安心」

「記録が早くて対応がスムーズ」

今後、利用者やケアマネジャーからの声が差別化の要因に。



**DXは単なる効率化だけでなく、
経営面の強化やブランディングにも直結します。**

DX導入で 得られるメリット



全体としての効果

業務効率の向上

記録・報告時間の削減、残業の削減

経営の見える化

数字・実績がリアルタイムで可視化

スタッフの定着・育成支援

教育も記録も仕組み化

信頼性の向上

ケアマネや家族への対応力アップ

売上・加算アップ

確実な請求で収益最大化

現場スタッフのメリット



Before

手書きや帰社しての記録
急な予定変更には振り回される
情報連携の手間

After (DX導入)

→ タブレット、スマホで簡単記録
→ リアルタイムスケジュール共有
→ 多職種連携がスムーズに

全てNotion(AI)で解決！

管理者・リーダーのメリット



Before

教育が属人的・時間がかかる

報告の質にバラつきがある

引き継ぎ時の情報不足

After (DX導入)

動画マニュアルで均一化 Notebook LM

フォーマット統一で平準化 Chat GPT

システム履歴で即把握 Notion

経営者・管理者のメリット

Before

請求ミスで売上ロス

IT化が進まず信頼度が不安

定着率が悪い

補助金を活用できていない

After (DX導入)

→ 自動加算チェックで収益UP

→ 「選ばれる事業所」に

→ 働きやすさ改善で離職防止

→ DX導入で申請しやすく

まとめ

記録がラクになる ➡ 残業減&本来業務へ集中

情報共有がスムーズに ➡ ケアの質UP

教育・加算・請求ミス防止 ➡ 経営効率UP



「IT対応事業所」として信頼&選ばれる存在に

生成AI×訪問看護



はじめての一步



従業員

AIリテラシーの向上



アイディアが広がる
ハードルが下がる

はじめての一步



最初のご提案は、生成AIを学ぶこと

生成AI

一番簡単で実用的なAI。
基礎を学べる。

AIツールを利用する上でも
必要な思考を身につけられる。

活用事例



中規模訪問看護ステーション

(愛知県・スタッフ12名)

Before (導入前の課題)

紙記録、帰社後にPC入力

スケジュールはホワイトボード管理

記録の書式がバラバラで加算漏れも

新人教育はOJT任せ



After (導入後の変化)

スマホ入力で現場で記録完結 (1件平均15分短縮)

クラウドで全員がリアルタイムに把握

テンプレート導入で請求加算が安定 (前年比+12%)

動画マニュアルで教育期間が半減

効果測定：中規模訪問看護ステーション

平均残業時間：月15時間 → 7時間に削減

加算請求漏れ：年間約20万円 → ゼロ

離職率：1年以内離職者ゼロを達成（前年3名）

DX導入による具体的な成果（業界レポート）

指標	Before	After	改善率
1件あたりの記録時間	約25分	約10分	↓60%削減
日報記入ミス率	18%	2%	↓約89%削減
請求加算エラー件数（年間）	約15件	0件	100%削減
利用者満足度アンケート	78点	92点	↑18%向上

★出典／ソース元：
自社実地導入ステーション3件（2023年実施）
厚生労働省「訪問看護の現状と課題」（2022年）
株式会社エムスリー「医療IT化レポート2023」
日経クロステック「介護×ICT導入事例集」より引用

声・反応（リアルな現場の声）



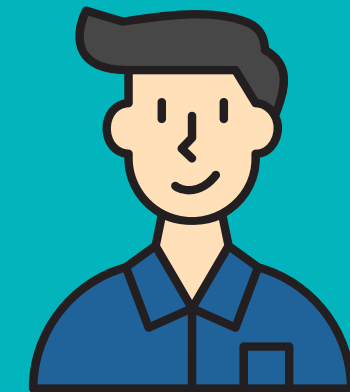
🗣️ 現場スタッフの声

「記録のストレスがなくなって、利用者さんと向き合う時間が増えました。」



🗣️ 管理者の声

「教育の属人化が減り、スタッフの質が均一化しました。」



🗣️ 経営者の声

「請求加算のミスがなくなり、経営の安定感が違います。」

提供サービス内容



提供サービス内容



POINT

課題発見～導入サポートまで

**現場のリテラシーに合わせて
混乱を防ぎながらDX化の提案**

提供サービス内容



▶ ステップ①：現状ヒアリング

- ・ 既存業務フローの可視化
- ・ ICT・AIに対するリテラシー調査
- ・ 課題抽出
(例：記録ミス、伝達漏れ、スタッフ負担)

▶ ステップ②：AI活用戦略の立案

- ・ 「AI活用シナリオ」の策定
(例：ChatGPTで記録文作成、職員マニュアルの自動作成)
- ・ 対応ツール・端末の選定
(例：LINE×ChatGPT、Notion、AIスケジューラー)

提供サービス内容



▶ ステップ③：実装支援

- ・ ChatGPTや自動化ツールの
初期導入サポート
- ・ スタッフ研修
(使い方、事例共有、業務フローへの統合)
- ・ 自社用プロンプト集のカスタマイズ

▶ ステップ④：効果測定と改善

- ・ 導入効果の定量化
(業務時間削減・職員満足度など)
- ・ 今後の活用方針提案と拡張計画

研修コース



【1ヶ月目】 AI Base Tune-Upコース

研修時間：3時間×4週（合計12時間）

基礎構築と自動化/GPTマスター

GPTで仕事の土台を作り、明日から手放す働き方へ

【1ヶ月目】 AI Base Tune-Upコース

研修時間：3時間×4週（合計12時間）

- | | | |
|---|-----------------|---|
| 1 | 業務フロー可視化&AI入門 | 現場業務の洗い出しワーク（1on1）
DX／AI／GPTの基礎概念をやさしく解説 |
| 2 | GPTとは？ 簡単作成ガイド | GPTのしくみを図解で理解
ノーコードUIでのGPT作成デモ&ハンズオン |
| 3 | 業務タスク自動化プロンプト設計 | 洗い出した業務を例にプロンプト作成練習
作成したGPTの動作テスト（1on1） |
| 4 | 導入効果測定&運用プラン策定 | 導入後の効率化指標設定と測定方法 |

【2ヶ月目】 AI Creative Tune-Upコース

研修時間：3時間×4週（合計12時間）

Notion基礎と運用整備

情報の仕組みを一元化し、チームをなめらかに動かす

【2ヶ月目】 AI Creative Tune-Upコース

研修時間：3時間×4週（合計12時間）

- | | | |
|---|-------------------|--|
| 1 | Notion基本操作とページ設計 | ワークスペース・ページ階層の設計
プロジェクト管理テンプレート作成 |
| 2 | データベース活用とスケジュール共有 | データベース／カレンダー機能解説
リアルタイムスケジュール設定演習 |
| 3 | Notion×AI連携ワークフロー | ChatGPT連携による自動要約・レポート生成
AIスケジューラー構築演習 |
| 4 | 運用ルール策定 | ガバナンス／運用フロー策定 |

【3ヶ月目】 AI Digital Tune-Upコース

研修時間：3時間×4週（合計12時間）

NotebookLM導入と成果検証

Notebook LMで知識も発想も“資産化”

【3ヶ月目】 AI Digital Tune-Upコース

研修時間：3時間×4週（合計12時間）

- | | | |
|---|--------------------|----------------------------------|
| 1 | Notebook LM概要と導入準備 | Notebook LMの機能紹介
導入前チェックリスト |
| 2 | 知識資産取り込みと整理演習 | 既存マニュアル／報告データのインポート
メタデータ設計演習 |
| 3 | AIアシスタント活用による発想支援 | アイデア創出ワークフロー構築
フィードバックループ実践演習 |
| 4 | 成果検証と拡張プラン策定 | 導入効果の定量化指標設定 |

料金



【1コース】 3時間×4週

**一人あたりの受講費用
400,000円（税込）**

3コース受講の場合1,200,000円